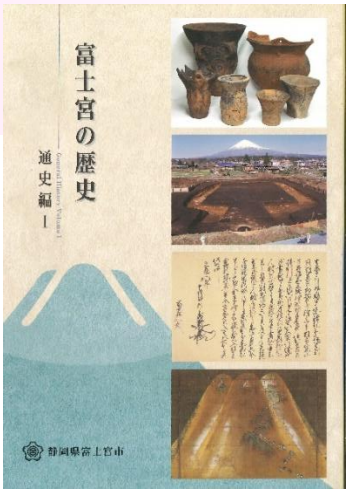
令和８年６月　第５号

富士宮市史編さんだより

富士宮の歴史　通史編Ⅰ【先史・古代・中世】紹介（令和８年４月刊行）



通史編Ⅰ

通史編Ⅰとは

旧石器時代から中世までの富士宮の歩みを、考古資料や文献資料をもとに時代順に整理した通史編の第１巻です。

遺跡や古墳、武士や寺社の動きなどを通して、地域の成り立ちや歴史の流れをわかりやすく解説しています。写真や図を多く用いて、分かりやすく親しみやすい市史を目指しました。

是非、手に取ってご覧ください。

『富士宮の歴史　通史編Ⅰ』　掲載資料

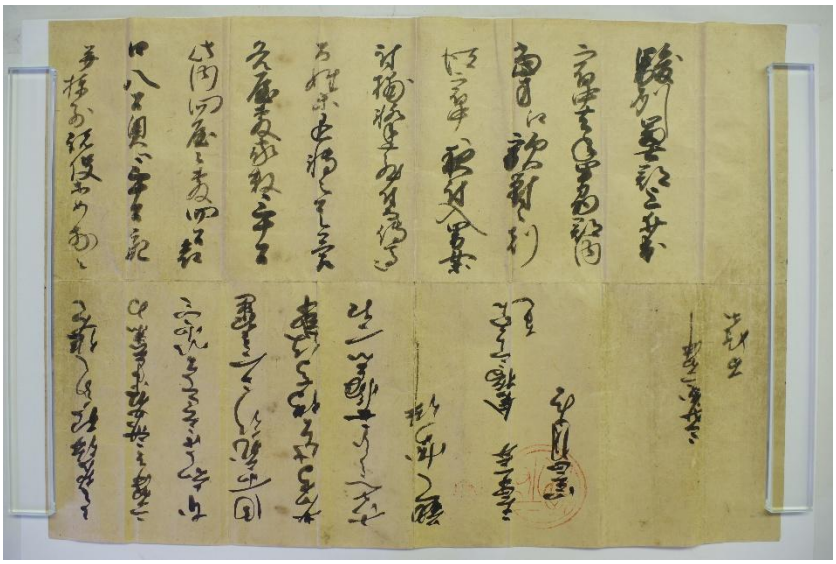


写真　徳川家康朱印状（上井出区有文書）（p166 掲載）

天正 10 年(1582)、駿河を支配していた戦国大名武田氏が滅亡すると、駿河は徳川家康が支配するところとなりました。写真は家康が天正 11 年(1583)、上井出宿の百姓らに宛てて出した朱印状です。

史料から、上井出宿が戦乱に巻き込まれ、伝馬役(公用の人や物を運ぶ役)を勤められなくなったこと、棟別・諸役などの税を免除して伝馬役の維持を図ったことなどが読み取れます。家康の領国支配の一端を示す貴重な史料です。

富士宮市史講演会について

『民俗編』刊行記念講演会は、大勢の皆様にご来場いただき、3 月 29 日に開催しました。ご参加ありがとうございました。

講師は市史編さん委員の松田香代子さんで「豊かな実りを願い災厄払う富士宮の祭り」という演題で講演していただきました。

講演会当日の様子

これからの講演会の予定

（詳細は「広報ふじのみや」等でお知らせします。）

- ◆ 8 月 29 日(土)　「富士山西南麓の縄文遺跡」　講師：深澤麻衣さん（袋井市学芸員）
- ◆ 9 月 26 日(土)　「民具から読み解く地域文化」　講師：外立ますみさん（神奈川大学非常勤講師）

富士宮地域で刊行・発行された冊子・新聞を探しています！

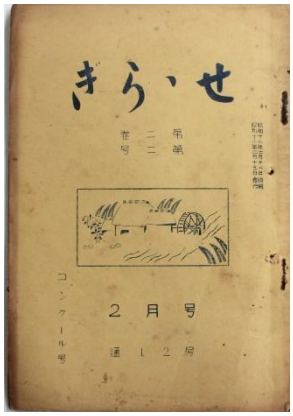
市史編さん事業を開始して以降、市民の皆さんから多数の資料・情報の提供がありました。

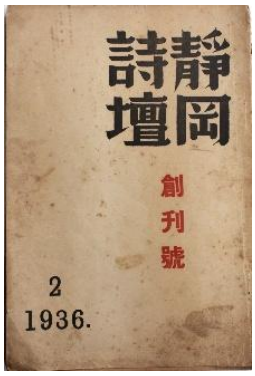
しかし、そのほかにもまだ貴重な資料が隠れていると思われます。

現在、特に、昭和 23 年から昭和 35 年ごろまで富士宮地域で発刊されていた**『富士宮報知新聞』**を探しています。これは、戦後の富士宮の知る上で重要なローカル紙ですが、図書館にもありません。

また、富士宮は戦前から文化活動が盛んで、さまざまな文芸雑誌が発行されていました。戦前では**『せゝらぎ(瀬々良季)』『星簇』『静岡詩壇』など**、戦後間もない頃には**『溶岩』『駿河文学』**などが刊行されていました。多くはガリ版刷りの雑誌ですが 1 冊でも貴重な資料です。

継続して調査・収集を行っていますので、お持ちの資料がありましたら、市史編さん室までご連絡ください。状態が悪いもの、判断がつきにくいもの、よくわからないものでも、お気軽にお問い合わせください。ご協力よろしくお願いします。





『富士宮の歴史』の書籍販売について　（市ウェブサイトで無料公開中）

既　　刊■『自然環境』…地形・地質・気候・動植物等について
新規刊行■『民俗編』…人々の暮らしぶりや年中行事等について
■『通史編Ⅰ』…先史から中世（戦国時代）までの歴史

※『通史編Ⅱ』【近世(江戸時代)の歴史】(令和 9 年 4 月刊行予定)
『通史編Ⅲ』【近現代(明治時代以降)の歴史】(令和 10 年 4 月刊行予定)

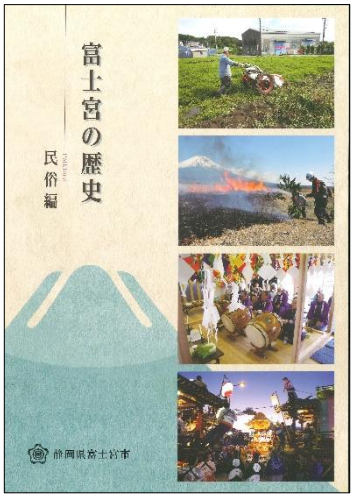
価格：各巻 1 冊 1,000 円

販売場所：市役所 6 階文化課　埋蔵文化財センター
市ウェブサイトからも購入できます。
（ウェブサイトからの購入は、別途送料がかかります。）

HP http://www.city.fujinomiya.lg.jp/bunka/rekishi/shishihennsan/index.html

※ウェブサイトで無料公開していますので、パソコンやスマートフォンでご覧いただくこともできます。

無料公開・書籍購入はこちらから



民俗編

［発行］　教育委員会文化課　　〒418-8601　富士宮市弓沢町 150 番地
☎ 0544-22-1187　　✉ e-bunka@city.fujinomiya.lg.jp
http://www.city.fujinomiya.lg.jp/bunka/rekishi/shishihennsan/index.html